

取扱説明書 壁付サーモスタット式シャワー混合水栓 品番：PK411YW（他）

■ご使用前にこの説明書と、バスルーム、給湯器の説明書をよくお読み
のうえ正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前
に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあと
は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■この取扱説明書は当社製品に関するものです。他社製品との組み合わ
せで採用された場合は、他社製品に付属の取扱説明書をご覧ください。
■転居される場合は、製品を安全にお使いいただくために、新しく入居さ
れる方、または取り次ぎされる方にこの取扱説明書をお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

◎人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそ
れがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産
の損害が発生するおそれ
がある内容」です。



してはいけない
内容です。



実行しなければ
ならない内容です。

警告

- | | | |
|---|--|---|
| <p>● 分解・修理・改造は絶対に行わない
感電や故障、水漏れの原因となります。</p> <p>● 幼児や身体の不自由な方だけで使用させ
ない
けが・やけどをするおそれがあります。</p> <p>● 混合水栓のお湯側は、熱くなるので触ら
ない
やけどをするおそれがあります。
ストレーナの清掃・調節後は、必ず止水栓力
バーを元どおりに取り付けてください。</p> | <p>● 水栓の上に衝撃を与えない
水栓力バーが割れてけがをするおそれ
があります。</p> <p>● シャワーには 60℃ 以上の熱湯を通水
させない
器具が破損し、やけどをするおそれ
があります。</p> <p>● ハンドルを最後まで回した後、さらに
力を加えて回さない
ハンドルが破損して、けが・やけどを
するおそれがあります。</p> | <p>● 給湯温度は 80℃ より高温で使わない
水栓の寿命が短くなり、破損してやけどや
水漏れするおそれがあります。</p> <p>● 配管などの解氷のため、解氷機をご使用
の場合、水栓には通電しない
感電や故障のおそれがあります。</p> <p>● 【寒冷地仕様の場合】水抜き栓は、水抜き
以外の目的で開けない
高温のお湯が出てやけどや、湯水が噴出し
て、家財などをぬらすおそれがあります。</p> |
| <p>● 湯水を使うときは低温から少しずつ吐水
し、適温を確かめてから使用する
高温のお湯が出てやけどをするおそれ
があります。また、吐水とシャワー切替時に温
度が高くなることがあります。</p> <p>● 高温の湯を使用後は、しばらく水を流し
てから止水する
次に使用するとき、混合水栓内に残ったお
湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> <p>● 高温の湯を使用後は、必ず温度調節ハン
ドルの目盛りを 40 以下に戻す
40 以下に戻さないと、次に使うとき、や
けどをするおそれがあります。</p> | <p>● 温度調節ハンドルはゆっくり回す
温度が急上昇して、やけどをするおそれ
があります。</p> <p>● 吐水切替ハンドルの操作を確認してから
使用する
やけどをするおそれがあります。</p> <p>● 湯側の止水栓の調節は、湯温を下げて行う
配管が冷めていないため熱い湯が出てやけ
どの原因となります。</p> <p>● 水抜きをする際、混合水栓を高温で使っ
た後は、しばらく水を流してから行う
しばらく水を流さないと、混合水栓内に残
ったお湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> | <p>● 水抜き作業後は水抜き栓をしっかりと締
める
配管から熱い湯が出てやけどをするおそれ
があります。</p> <p>● ストレーナの清掃は止水栓または元栓で
必ず湯水を止めてから行う
また、湯側止水栓が熱くないことを確認
する
高温のお湯が出てやけどや、湯水が噴き出
して、浴室外に水漏れする原因となります。</p> |

注意

- | | |
|--|--|
| <p>● 器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えない
器具が破損し、けがをしたり、浴室外に水漏れする原因となります。</p> <p>● 水栓天板に物を置かない
落下してけがをするおそれがあります。</p> <p>● めっき部分は、ぶつけたり落したりしない
また、鋭利な物や硬い物を当てない
めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p> <p>● めっきの表面が割れた場合は使用しない
けがをするおそれがあります。</p> | <p>● 【凍結が予想される場合】
一般地仕様：少量の水を出しておくか、配管に布を巻く
寒冷地仕様：混合水栓や配管の水抜きを行う
凍結破損し水漏れの原因となります。</p> <p>● 吐水切替ハンドルはゆっくり回す
急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり、水
漏れする原因となります。</p> <p>● シャワーヘッドは、斜めではなくまっすぐホースに取り付ける
ねじがつぶれ、やけどをするおそれがあります。</p> |
|--|--|

給湯機の使用上のお願い

- 給湯機の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
必要とする温度（適温約40℃）が得られなかったり、流量が少なくなっ
たりします。
- 吐水切替ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。
給湯機が着火しない場合があります。（瞬間型の場合）
- 吐水切替ハンドル全開時、吐水量が多すぎる場合は、あらかじめ止水栓
で流量調節してください。
それでも直らない場合は、吐水切替ハンドルで調節してください。

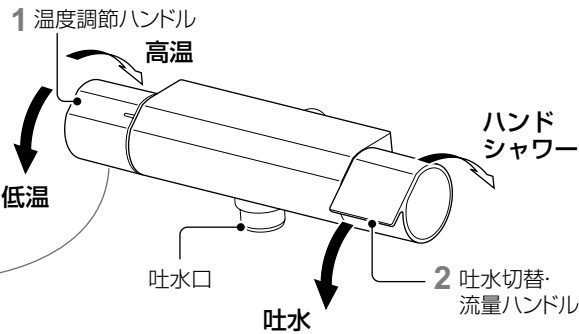
使いかた

水栓本体

高温のお湯を出したいとき

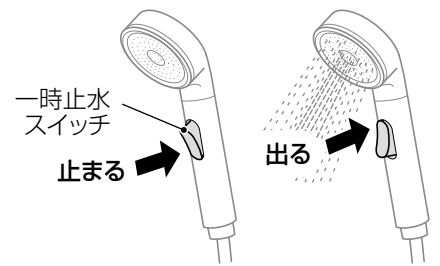
温度調節ハンドルは、42℃付近でロックされます。
より高温のお湯を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながら温度調節ハンドルを「高温」の方向に回してください。

ストッパー
解除ボタン



※トップカバーとハンドルに段差ができる場合がありますが、異常ではありません。

ハンドシャワー



※イラストは、W(ダブル)水流シャワー
メタルワンタッチ

お手入れ

水栓本体、ハンドル、吐水口

月に1度

1 やわらかいスポンジに洗剤をつけてこする

浴室用洗剤（中性）でハンドルや吐水口の水あか（白い汚れ）などを落としてください。

2 シャワーで洗剤をよく洗い流す

水あか（白い汚れ）が落ちにくいとき

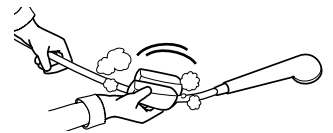
歯ブラシに練り歯磨きをつけ、こすってください。

シャワー

週に1度

汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流す

浴室用洗剤（中性）をスポンジにつけ、包み込むように洗ってください。
水で洗剤をしっかりと流し、からびきしてください。



お願い

- 日常的に混合水栓のハンドルを回しておいてください。（ハンドルを回さないと、水あかなどが付着し故障の原因となります。）

次のものを使用しないでください。

酸性表示の洗剤、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、オレンジオイル系洗剤、研磨剤入りの洗剤やスポンジ（素材を傷めるおそれがあります）、アルカリ性表示の洗剤、風呂水清浄剤、漂白剤、クレンザー、みがき粉、薬品（殺虫剤など）、たわし、サンドペーパーなど、メラミンスポンジ

こんな場合はどうするの？

シャワーの水の出が悪くなってきた。

エステケアシャワー

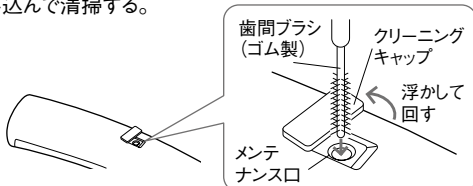
【シャワーフェイス】

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞ってノズルを傷つけないように、軽く汚れをふき取ってください。

※強い力でふき取ると破損の原因となります。

【メンテナンス口】

- ①クリーニングキャップ下部をつめて起こして浮かして回す（クリーニングキャップは外しません）。
- ②メンテナンス口に歯間ブラシ[ゴム製：サイズ1（SSS）]を奥まで差し込んで清掃する。

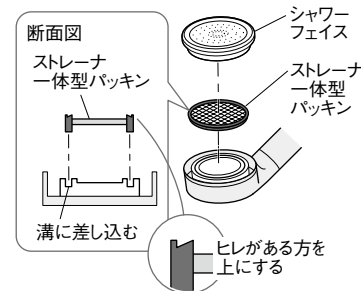


ホワイトシャワー、メタルシャワー

シャワーフェイスを回して取り外し、汚れを浴室用洗剤（中性）で洗い流してください。

※取り外しにくいときは、ゴム手袋などを着用してください。

※シャワーフェイスを元に戻すときは、パッキンに傷をつけないよう、ご注意ください。



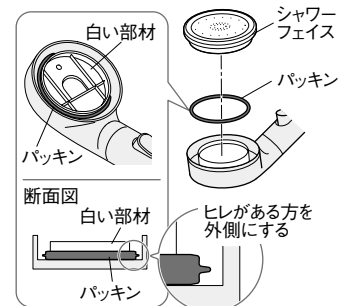
W(ダブル)水流シャワー(メタルワンタッチ)

シャワーフェイスを回して取り外し、汚れを浴室用洗剤（中性）で洗い流してください。

※取り外しにくいときは、ゴム手袋などを着用してください。

※シャワーフェイスを元に戻すときは、パッキンに傷をつけないよう、ご注意ください。

※必ずシャワーヘッド内にパッキンを取り付けてください。



新W(ダブル)節水シャワー

シャワーフェイスを取り外し、シャワーフェイスの穴を歯ブラシで水洗いします。

※清掃後シャワーフェイスを戻すとき、締め込み過ぎるとフェイスが外れにくくなるので、ご注意ください。



ワンストップシャワーヘッド ホワイト

散水板の穴を針などで刺し、汚れを取り除きます。

※針の先端を折らないように注意してください。



黒いカビや汚れがついた。

・浴室用洗剤（中性）を含ませたキッチンペーパーをはりつけ、20～30分程度置きます。

・キッチンペーパーで汚れを軽くこすり、洗剤が残らないようにしっかりと水で洗い流し、からびきをしてください。

※洗剤のついたキッチンペーパーは床や浴槽、収納棚などにつかないように、床にビニール袋などを敷いてください。

ストレーナ(止水栓)

月に1度

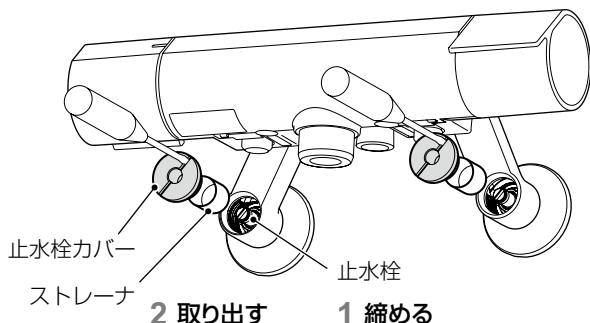
1 止水栓を締める (2か所)

しっかり締めて湯水が出ないことを確認してください。

2 止水栓カバーを開けてストレーナを取り出す (2か所)

3 ストレーナの汚れを落とす

4 清掃後、逆の手順で取り付ける



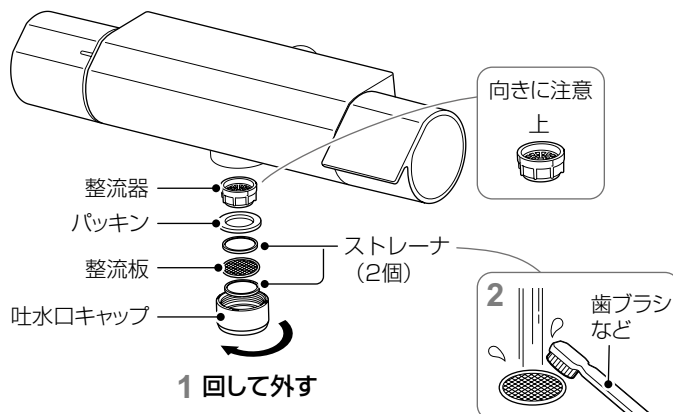
ストレーナ(吐水口)

月に1度

1 吐水口キャップを手で回して取り外す

2 ストレーナの汚れを落とす

3 清掃後、逆の手順で取り付ける



メンテナンス

温度調節

混合水栓は、使用条件によって温度調節ハンドルで設定した湯温にならないことがあります。
例えば「40℃に設定しているのに、お湯がぬるすぎる」ときは、次の手順で調節してください。
(特に、冬場は水温が下がり、湯温が上がりにくい場合があります。)

使用上の道具



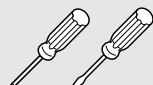
薄手の布



精密ドライバー
(先端幅1.8mm程度のもの)



温度計



プラスドライバー
マイナスドライバー

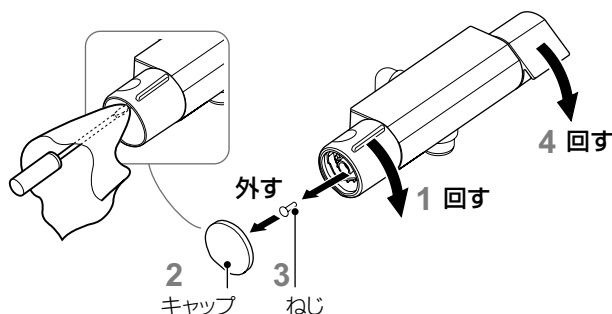
1 温度調節ハンドルを低温側いっぱい回す

2 キャップを外す

キャップに傷がつかないように、精密ドライバーに薄手の布を巻き、切り欠きに差し込んで外してください。

3 ねじを外す

4 吐水切替ハンドルを吐水側に最大まで回す



お願い

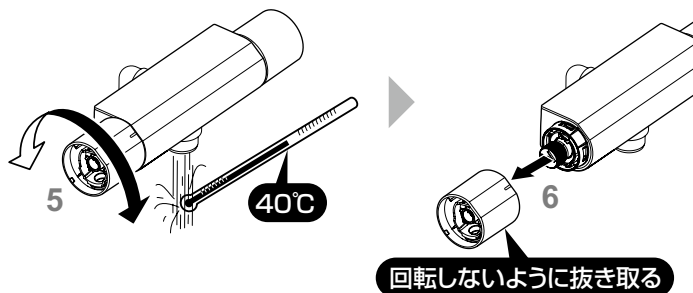
作業の前に次のことを行ってください。

- ・水栓の止水栓を全開にする。
- ・ストレーナのごみ詰まりを取り除く。
- ・50～60℃のお湯が出ることを確認する。

5 40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す

目盛りには関係なく40℃のお湯が出る位置まで回してください。

6 お湯を止め、温度調節ハンドルを抜き取る

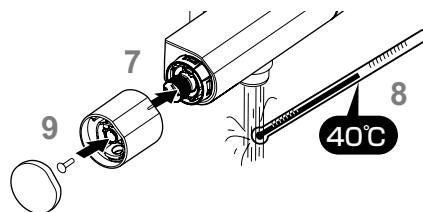


7 温度調節ハンドルを取り付ける

目盛りを「40」に合わせてください。

8 お湯を出し湯温が40℃であることを確認する

9 ねじを取り付け、キャップをはめる



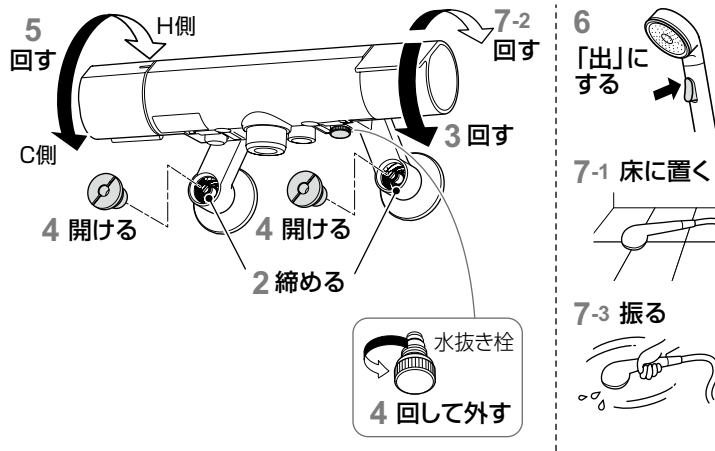
凍結予防のしかた

- ・水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となります。（凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。）
- ・凍結が予想される場合は浴室内が氷点下にならないようにしてください。（氷点下になるおそれがある場合は以下の凍結予防の処置をしてください。）

寒冷地仕様の場合

水抜きを行う

水栓本体の水抜き	水栓本体と配管の水抜き	手 順
	1	ご家庭の配管の水抜き栓を操作する。
2		湯・水の止水栓を締める。
3	3	吐水切替ハンドルを吐水側へ回す。
4	4	水抜き栓とストレーナを開ける。
5	5	温度調節ハンドルを「H」に回して水を抜き、「C」に回して水を抜く。
6	6	【手元止水付きシャワーの場合】 ボタンを「出」の状態にする。
7	7	1) シャワーヘッドを床に置く。 2) 吐水切替ハンドルをシャワー側へ回す。 3) シャワーヘッドを振って中の水を抜く。



一般地仕様の場合

凍結が予想される場所で使用する場合は、次の処置によって凍結を予防することができます。

- 1 少量の水を出す
- 2 配管部などに布を巻く

通水を再開する

上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。
必ず水抜き栓とストレーナが締まっていることを確認してください。

【水が出ない場合】
吐水切替ハンドルを吐水側へ回し、しばらくお待ちください。
水栓内に残った水滴が凍っている場合があります。

故障かな？

こんなときは	このように処理してください	こんな理由です
流量を絞るときに音がする。	異常ではありません。	水が流れる音です。
お湯が出ない。吐水量が少ない。	ストレーナを清掃する。	混合水栓または止水栓のストレーナにごみが詰まっている。
出始めのお湯が冷たい。 湯温が一定にならない。	異常ではありません。 しばらくお湯を出して待ってください。	配管に残っている冷めたお湯が出るためです。
熱いお湯が出ない。	他の混合水栓の吐水量を少なくする。	台所や洗面所など他の混合水栓と同時に使用している。（給湯機的能力によっては、同時に使用すると湯温の下がる場合があります。）
	混合水栓の吐水量を少なくする。	冬期で水道水の水温が低い。（給湯機的能力によっては、湯温の上がりにくい場合があります。）
	浴室リモコンの設定を優先にする。	台所リモコンの設定が優先になっている。
	必要とするお湯の温度より10℃以上高い温度に設定する。 （60℃給湯をおすすめします。）	給湯機の設定温度が低い。
	温度調節ハンドルを設定しなおす。	温度調節ハンドルの設定がずれている。
低温（30℃程度）のお湯を出すとき、湯温が一定しない。	給湯機の設定温度を下げる。（例：60℃→40℃）	次の条件が重なっている。 ・夏などで水道管の水温が高い。 ・給湯機の設定温度が高い。
低温（30℃程度）のお湯を出すとき、吐水量が少ない。 ※電気温水器の場合を除く。	必要とするお湯の温度より10℃以上高い温度に設定する。 （60℃給湯をおすすめします。） 吐水量を増やすには、給湯機のお湯に水道管の水が吐水されるよう、給湯機の湯温を高め設定してください。	給湯機と混合水栓の設定温度が近い。
W水流シャワーの吐水が乱れる。	吐水切替・流量ハンドルを全開にする。	流量が少ないと、吐水が乱れるため。
	シャワーフェイスをお手入れする。	シャワーフェイスにごみが詰まっている。
水を止めても、シャワーヘッドから水滴が落ちる。	故障ではありません。	シャワーヘッドに残った水です。 一時止水や、シャワーヘッド・ホースに触れたときにも水滴が垂れる場合があります。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 水廻りシステム事業部

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2022

GVN1569
B0822-1102